

小林市議会「市民との意見交換会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	細野小校区	担当班	議員名	担当
参加人数	16人(男性13人 女性3人)		高野 良文	司会進行
開催日	平成29年7月12日(水)		杉元 豊人	活動報告
開催時間	午後7時～午後8時20分		鎌田 豊数	記録・報告書作成
会場	コミュニティセンター南部いろり村		穴見 嘉宏	
その他		4班	西上 隆	当日荷物搬入・受付

◎班代表者 杉元 豊人

意見交換会の内容		※ <input type="checkbox"/> 市民の意見	■ <input checked="" type="checkbox"/> 議員の意見
統一テーマ	「地域交通について」・「空き家活用について」		
<p>【意見交換の概要】</p> <p>「地域交通について」</p> <p><input type="checkbox"/>270世帯が居住し、65歳以上の高齢者が90人いる細野団地では、多くの人が交通の不便を感じている。堤地区に比べると便数も少なく不公平感を感じている。コミュニティバスは団地を経由することはできないのか。</p> <p>■議会全体で議論を深め、提言につなげていく。</p> <p><input type="checkbox"/>アンケートを「のじりこびあ」や「八幡原」で実施したとのことであったが、市民の希望が的確に反映されているとは思えない。</p> <p>■調査方法については交通弱者の生の声を拾い上げることが必要である。また、利用者や地域の希望を把握することも重要と考える。</p> <p><input type="checkbox"/>都城市庄内地区で地域協議会が乗り合いバスを運行しており視察した。西小林ではそういうことをやろうとされているようだが、細野でもやれということなのか。</p> <p>■まちづくり協議会でコミュニティバスの運営をしたいとの要望が出ているが、法的、技術的な問題、安全面の問題など課題が多い。今、行政でも検討中であるが全域で実施するという事ではない。</p> <p>「空き家活用について」</p> <p><input type="checkbox"/>平成27年に空き家調査をしたが所有者の把握が難しく、また、荷物が置いたままになっており、空き家の活用は難しいのではないかと感じている。移住定住の促進として歴史ある建物を利用するという事であれば可能であると思う。</p> <p>■関係各課で横断的な取り組みが必要ではないかと考える。</p>			

□空き家の固定資産税はどうなっているか。

■法改正によって特定空家に指定されると固定資産税が高くなるが、本市では今のところそういう事例はない。

□空き家が多くなっている原因は、経済格差によって人が都会に集中することにあると思う。市の仕事は地元業者に発注したり市職員も正規職員を増やすなどして、小林市と大都市との所得格差を質すことが必要ではないか。

■所得の格差問題も確かにある。雇用、住宅、医療などの整備も必要と考えている。今後、議会全体で議論を深めていきたい。

自由意見の交換

※□市民の意見 ■議員の意見

□細野中学校体育館は避難所になっているが雨漏りがひどい。

■現在、雨漏りの改修を進めている。屋根の改善も必要なので、その点については今後検討していくとの担当課からの回答であった。

□細野小学校南側の道路は狭く段差もあり離合できない。一度調査してほしい。

■通学路ということもあり、子供を守る観点から段差を設け歩道の代わりとしているとの担当課・学校からの回答であった。

□防犯灯の電気料をいきいき地域づくり区交付金で払っている。いきいき地域づくり区交付金は続けていってほしい。

■いきいき地域づくり区交付金は今後も継続予定である。使途については、各区で決めているとの担当課からの回答であった。

□J Aから神の郷温泉までが暗い。安全灯の設置はできないのか。

■安全灯は、区から学校へ要望を出し検討するようになっている。

□小林の貴重な財産である「牧場の桜」や「霧島岑神社」への観光客の誘致をすべきだ。また、霧島岑神社のトイレの改修はできないか。

■トイレについては行政で整備するのは難しいとの担当課からの回答であった。観光誘致については、議会全体でも議論を深めていきたい。

□土手が崩れ、市が簡易に土嚢を積んでいるが、市の責任でちゃんとしてほしい。

■担当課に伝える。

□マイナンバーカードの提出をいろんな場所で要求される。誤送付もあった。

■確定申告でマイナンバーの記載が必要となるので提示を進めているが、提出を強制することはない。

□市立病院の産婦人科が休診してから現在まで医師の確保ができていない。市長も議員も理由を分析し反省しながら進めていかないと、解決につながらない。

■2市1町の首長、議会、各関係機関で情報共有しながら取り組んでいく。

□小林市は鯉の生産が昔から盛んである。こいのぼりを本通りに飾り観光に生かしたらどうか。

■議会で議論するとともに担当課にも伝える。

□大型車が桜の枝を折っていく。大型車は通らないようにしてほしい。

■担当課に伝える。

□避難所が遠くお年寄りや災害の時に着けない恐れがある。身近なところに避難所を設けてほしい。

■一時避難所については地域で設定することが可能である。地域の方々と話し合ってもらいたい。

□見慣れない蜂がいたので市役所に連絡したら、内容は聞かずいきなり業者を紹介された。対応がおかしいのでは。

■対応の改善を担当課に伝える。

◎小林市立病院での産婦人科（分娩）再開について

意見交換会では、小児科・産婦人科の充実を求める意見が各地区で出されました。その後、西諸出身の医師を中心とし、宮大医学部産婦人科の支援のもと、平成30年7月から小林市立病院での産婦人科（分娩）を再開する運びとなりました。また、9月定例会では、妊婦等に対し通院にかかる交通費として妊娠1回につき2万円交付する予算が可決されました。

議会活動報告への意見

※□市民の意見 ■議員の意見

特になし